

伊那市農業振興センターだより

運営委員長 宮原 英幸



9月まで夏の暑さが続く予報が発表されています。～農作業中の熱中症に注意を～

☆熱中症予防のポイント

熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です。

こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



熱中症は
予防が大切



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



秋作業が本格化します！ ～～農作業事故を無くしましょう～～

長野県内では、今年に入って農作業中の死亡事故がすでに 8 件発生しています。これは昨年 1 年間の発生件数 9 件に迫る深刻な状況となっています。また、死亡者数の 9 割を 65 歳以上の農業者が占めているほか、事故原因の約 65% は農業機械によるものとなっています。農作業事故防止に向け「再度安全確認」を行いましょう。

- ①可能な限り複数人数で作業しましょう。
- ②圃場の危険な箇所は事前に確認を行い、目印を設置する等の対応を行いましょう。
- ③トラクターを使用する際は必ず安全フレームを展開してシートベルトを装着し、ヘルメットの着用に努めましょう。また、走行時のブレーキの連結を確認しましょう。
- ④機械類の詰まり等を解消する際は、必ずエンジンを止めて行いましょう。
- ⑤万が一の事故に備えて「労災保険」に加入しましょう。

～～ 農薬散布事故に注意しましょう ～～

伊那市内でクロルピクリンを散布したハウス内で体調を崩し、救急搬送される事案が発生しました。目のかすみ、手足のしびれなどの症状が現れ、自ら上伊那農業農村支援センターへ連絡したことで、職員がすぐに救急要請をしました。

使い慣れた薬剤、機器などでも、改めて利用方法・注意事項等を確認しましょう。また、携帯電話の携行、複数人で作業を行うなどして、緊急時連絡が取れるような体制をとることも重要です。

～爆音機の使用場所、時間帯についてご協力をお願いします～

まもなく実りの秋を迎え、農作物の鳥獣被害が心配されます。対策として爆音機が使用されていますが、伊那市では「伊那市環境保全条例施行規則」で爆音機の使用禁止の場所、時間帯が定められています。

1 使用禁止位置

「文教、福祉、病院施設及び住宅からおおむね 100m以内」 (* 文教施設とは地域の公な施設)

2 使用禁止時間帯

- (ア) 第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域
第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域及び準住居地域

「午後7時から翌朝の午前7時まで」

- (イ) その他の都市計画区域内地域

「午後7時から翌朝の午前5時まで」



地区内の皆さんに、使用についてご理解いただくとともに使用位置、時間帯の厳守について各々のお立場で周知徹底をお願いします。(2の(ア)(イ)については長野県の信州暮らしのマップをご覧ください)

～農作物の盗難防止について～

県内において果実の盗難被害が発生しています。

大切に育てた農作物を盗難から守るために、園地を定期的に見まわる等、十分に注意しましょう。盗難防止対策として、ネットや柵を設置する等、園地に侵入しにくい環境をつくったり、看板やのぼり、防犯カメラやセンサーライトの設置は有効とされています。

また、作業員への腕章や農作業車両へのステッカー等の目印は、侵入者を見分けるために有効です。不審者(車)を見つけた場合は特徴や色・ナンバーなどをチェックしましょう。定期的な見まわりと盗難対策を講じることで、大切な農作物を盗難から守りましょう。

STOP!

農作物盗難



～大切に育てた農作物を盗難から守りましょう～



ポイント1 農作物の保管・管理

- 定期的な見回りを行いましょう。
異変があったら、すぐに警察に通報しましょう。
- 不審者の特徴、不審車両の色・ナンバーをチェックしましょう。
- 腕章や農作業車両にステッカー等をはるなど、農作業従事者である目印をつけましょう。



ポイント2 園地への侵入防止対策

- 園地にネットや柵を設置しましょう。
- 「盗難注意」「立入禁止」等の看板やのぼり旗を設置しましょう。
- 防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。

長野県農政部・長野県警察
※本製品は、皆様から寄せられた「ふるさと信州寄付金」を活用しています